

学籍番号	氏 名	担 当 教 員	テ ー マ
M26-0262B	桑原 空良	大曾根 先生	これで楽々！ デジタル介護ノートの開発 ～介護ノート活用機能～

1. 研究目的

在宅介護をする家庭が増えてきている。在宅介護は非常に家族の負担が大きい。なぜなら通常の生活と同時に介護を行うからである。そのため、負担を軽減するために複数の介護者の協力が必要であり、その情報共有のため、介護ノートが重要な役割を果たす。しかし、介護ノートには、記入の不統一や過去記録の検索しにくさという問題がある。そこで、介護ノートを電子化することにより、介護活動の負担を軽減しようと考えた。これにより、記入の手間の軽減や過去記録の検索のしにくさを改善できると考える。

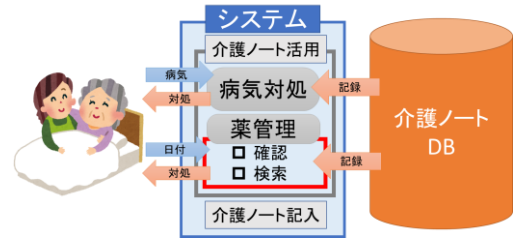


図1 システム概要

2. システム概要

本システムには、介護ノート記入機能と介護ノート活用機能の2つの機能を持たせた。そのシステム概要を図1に示す。筆者は介護ノート活用機能を担当した。

本機能は、介護ノートの記録を活用することにより、介護を支援する機能である。介護ノートを活用することができるよう、以下の2つのサブ機能を持たせた。

(1) 病気対処機能

介護者が、介護対象者の病名からその症状に対し、過去にどんな対処を行ったかを確認することができる機能である。その病気対処機能画面を図2に示す。

(2) 薬管理機能

介護対象者が、いつ、どのようなときに、どのような薬を服用したかを記録し、服用日や服用薬の名称から介護ノートを検索することができる機能である。



図2 病気対処機能画面

3. 実現方法

病気対処機能において、AND 検索と OR 検索を実現した。ここではAND 検索アルゴリズムについて説明する。

- ① KW(1)と KW(2)に病名をセットする。
- ② KW(1)と表1の介護ノートファイルの4列目5列目を比較する。
- ③ その中に KW(1)が含まれていれば、KW 一致(1)を True とする。
- ④ KW(2)に対しても同様に行い、KW 一致(2)を求める。
- ⑤ KW 一致(1)と KW 一致(2)の AND を取りレコードを出力するか判定する。

表1 介護ノートファイル

	1	2	3	4	5
1		日付	出来事	病名1	病名2
2		1/1		微熱	高血圧
3		1/2		咳	微熱

4. 研究成果

- (1) 病気対処機能により、検索結果から対処法の提示が実現できた。
- (2) 薬管理機能により、日付による服用した薬の提示が実現できた。

5. 残された課題

- (1) 薬品名による日付の提示を行う機能が未実装となってしまったので、それを実装したい。
- (2) 病名がコンボボックスによる選択のため、自由入力で検索を行えるようにしたい。

キーワード	在宅介護、介護ノート、体調管理、薬管理、レコード検索				
種類	システム開発	手法	介護支援	データ源	インターネット
使用ハード	パソコン	使用ソフト	Visual Studio	使用言語	Visual Basic

